

会 議 録

会 議 名	第54回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 議案 (1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について（公開） 2 報告事項 (1) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年7月1日現在）について（公開） (2) 令和6年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年4月～6月）について（公開） (3) 第5回こまめカフェの開催について（公開） (4) 学習会（助成金・パソコン）の開催結果について（公開） (5) 令和5年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について（公開） (6) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について（公開）
日 時	令和6年8月8日（木）午後2時から午後3時40分まで
場 所	野田市役所議会棟4階 委員会室
出席者氏名	会 長 竹澤 勇司 副 会 長 立山 喜弘 委 員 岩井 勝治、芝田 栄太郎、辻 朝子、 名代 ちよ子、神山 憲次郎、矢作 勝美 事務局等 市民生活部長 宮澤 一弥 市民生活課長 須賀 良平

	市民生活課長補佐 岡田 敦子 市民生活課コミュニティ係長 高梨 清美 市民生活課コミュニティ係主査 山田 典生 市民活動支援センター長 関口 一夫 主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 渡邊 勝男 コーディネーター 松本 貴美江 支援補助員 向佐 美知子
欠席委員氏名	加藤 眞智子、北倉 恵美子
傍聴者	1名
議事	第54回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活部長挨拶 宮澤市民生活部長挨拶 3 議事 議案(1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について (資料 議案1)－1～2) 議長（竹澤会長） 議案(1)について説明を求めた。 須賀課長 議案(1) 「野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について」を説明した。 議長（竹澤会長） 議案(1)について、委員に意見を求めた。 《異議無しの声あり》	

では、補助金審査会の委員に、岩井委員と辻委員を推薦するということでしょうか。

《異議無しの声あり》

議長（竹澤会長）

異議がないようなので、議案(1)については、以上とする。

報告事項(1) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年7月1日現在）について

（資料 報告 1）－1～3）

報告事項(2) 令和6年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年4月～6月）について

（資料 報告 2）－1～3）

議長（竹澤会長）

報告事項(1)、(2)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

報告事項(1) 令和6年度市民活動支援センターの登録状況（令和6年7月1日現在）についてを説明した。

松本コーディネーター

報告事項(2) 令和6年度市民活動支援センターの利用状況（令和6年4月～6月）についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(1)、(2)について、委員に意見を求めた。

芝田委員

新規登録が多くなった理由の中で、一つの団体が別れて増えたということだが、別れた理由を聞いてもいいか。

荒井コーディネーター

私は、NPO法人野田文化研究会の事務局をしていた。理事には辻委員もおられ、18年間NPO法人で活動してきた。その中で、七つのグループが生まれた。朗読、紙芝居、人形劇、歌声、よさこいの踊りなど、主に表現活動でやってきた。それぞれのグループが、一つの団体になって独立できるくらいの力を持ってきたので、大きな組織のNPO法人でなくても、それぞれが自由に活動した方が広がるのではないかという理由もあり、今年6月に解散総会をして、今手続中である。まだ登記が済んでいないので、正式にはまだNPO法人野田

文化研究会があることにはなっているが、多分9月には登記が終わると思う。

立山副会長

NPO法人野田文化研究会が七つに分かれたということだが、野田文化研究会そのものはもうないのか。

荒井コーディネーター

本体のNPO法人野田文化研究会は解散した。七つのグループの中で、資料にも出ているように、野田文化研究会 ぶらっと散策、野田文化研究会 人形劇みいみ、野田文化研究会 夏雲の会、野田文化研究会 うたごえウエーブのように、野田文化研究会の名称を付けている団体もある一方、野田文化研究会の名称を付けないで、紙芝居 のっこ、野田おどりこ隊、野田エイサー遊び家という名称で活動している団体もある。私たちは発展的解散と捉えながら解散をした。

立山副会長

組織内では相互に関連する人もいたと思うが、みんな別々になったということか。重複する人もいらっしゃるのか。

荒井コーディネーター

重複して、複数のグループに入っているということもあったのと、個々に独立するのも心細いということもありまして、NPO法人野田文化研究会はなくなったが、野田文化研究会連絡会を作った。2か月に1回くらいは皆さんで集まって情報交換などをしながら、つながっていこうという組織に変わった。

議長（竹澤会長）

野田文化研究会は、本当に長い間、野田の文化に大変寄与していただいて、野田市の団体の代表という形で今まで活躍されてきたことと思うが、今後も団体のリーダーということでアドバイス、御指導いただければ有り難いと思っていますので、よろしくお願いしたい。長い間本当にありがとうございました。

辻委員

私たちも解散をして一つの団体となって、一番何が大変かと言うと、前回も申し上げたが、みんなで集まって会議をする会場取りである。

市民活動支援センターフリースペースとイオンノア店内会議室という話もあったが、ここでは利用された数だけが報告されているが、使いたくても利用できない、あるいは潜在的に会場が足りないという声を拾っていく必要もあると思っている。私は野田市民ではないので、いわゆるインターネット予約の重複

の問題や、キャンセルされた後の空いた部分の予約の取り方など、市民活動を活性化するためには、会場を取りやすく、あるいはここも開放します、みたいなものがあればいいと思っている。それは今後の課題として検討していただければと思う。

宮澤市民生活部長

市民活動団体だけではなく、市の方でも会議スペースがなくなっており、苦慮している部分もある。市役所 8 階の旧レストラン会議室もあったが、今後はレストランを復活するということでやっているの、今すぐこうするということとは言えないが、会議スペース、活動スペースが不足気味だというお話はよく分かったので、もう 1 回実態を確認させていただきながら、できることは対応していきたい。

釜田主任コーディネーター

既存の施設について、例えば公民館でのインターネット予約で重複したことがあるが、市民活動支援センターではイオンノア店内会議室 1、2、市民活動支援センターのフリースペースを有効に活用していこうということで、フリースペースが意外と空いているので、特に土日の利用の案内と、あとはイオンノア店内会議室についても、曜日、日にちによっては空いているところがあるので、特に公民館がインターネット予約で重なって取れなかったという御相談がたまに来るが、イオンノア店内会議室、フリースペースを御案内している。

また、新しい市民活動団体が増えている。やはり活動の場所が欲しいということで、イオンノア店内会議室、フリースペース、他の公共施設の空き具合をうまく活用しながら、という形で、まずは既存の施設の有効活用という形で対応している。

神山委員

フリースペース、イオンノア店内会議室の許容人数はどのくらいか。

昨日、総合福祉会館を借りようとしたら、全て予約で埋まっていて、イオンノア店内会議室もあると認識しているので、許容人数を頭に入れたと思う。

関口支援センター長

イオンノア店内会議室 1 は、40 人程度が入る。イオンノア店内会議室 2 は、椅子が 24 脚なので、24 人まで可能である。

フリースペースは、8～10 人程度の利用でお願いしている。

神山委員

フリースペースは、平日は市民活動支援センターの職員がいるが、利用は大丈夫か。

関口支援センター長

会議等で利用される場合は、あらかじめお電話いただいて、他の団体の方が相談にいらっしゃるときもあるので、利用する日は御相談になる。相談業務をしている横で会議をしたくないという話になることもあるので、どなたかが相談をしている状況でもいいよという話合いでしたら利用されてもいいが、その都度、前もってお電話いただければと思っている。

予約は、2週間前からということをお願いしている。

議長（竹澤会長）

活動場所の不足の実態を、時間をかけて確認していくというお話もございましたので、その都度状況を御報告いただきながら、取り組んでいただければ有り難い。

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)、(2)については、以上とする。

報告事項(3) 第5回こまめカフェの開催について

(資料 報告 3)－1)

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

渡邊コーディネーター

報告事項(3) 第5回こまめカフェの開催についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

立山副会長

こまめカフェの御案内を前から頂いているが、第6回も合わせて募集をかけていたような感じがしたが、応募状況はどうか。

渡邊コーディネーター

令和7年3月開催の第6回は、現在4団体の申込みがある。

立山副会長

まだ入る余地はあるか。

渡邊コーディネーター

まだあるので、是非御検討をよろしくお願いいたします。

議長（竹澤会長）

サブタイトルが、非常にイメージを作っていくということで、定年になって家でお茶を飲んでばかりいる人が多いかもしれないが、「～新たに活躍できる場所、見つけませんか？～」というものが入ってきたら、お茶ばかり飲んでられないなという人はいるのではないかと思う。サブタイトルに関して、個人的には非常に印象もいいと思うが、どの辺の方々に当を得る※サブタイトルを決めているかというものがございましたら、お聞かせいただきたい。

向佐支援補助員

こまめカフェの企画を立ち上げたときに、いわゆるセカンドキャリアを考えられている方を最初に想定してこまめカフェの企画を立てた。そのときに、新たに活躍できる場所、というキーワードを考えたところから来ている。途中、若い方を対象にしたこまめカフェもあったが、もちろん若い方も歓迎しているが、どちらかという仕事を退職されて、これからまた何か新しいことを始めたいなという方が来ていただけたらいいな、というところを中心に考えている。

議長（竹澤会長）

若い人だけとかそういうことではなくて、いろいろな方に参加していただけるのではないという印象を受ける。

立山副会長

高齢者になって、なかなかそういうところに入りにくい。もう辞めたという感じの人も多いと思うが、まだ元気で頑張れる方も是非誘ってほしい。

辻委員

前は若い方の参加もということだったが、チラシについての意見を言わせていただくと、今回の参加対象の年齢層を考えている割には、写真が講演会のような形で少し堅苦しい感じがした。それから女性が非常に多い写真なので、おじさんたちも楽しそうにやっているような日頃の活動で、顔出ししてもいいような写真で、新しいことをやっているな、という写真を入れると、自分と同じような年齢のおじさんもいるな、という感じで目を引くのではないか。女性の後ろ姿で、机には書類が置いてある写真だと、講演会かと思われても仕方がないと思うので、もう少しカフェらしく楽しげな雰囲気、表情が出るような写真がいい。素敵なイラストもあるし、紙面の関係上で無理かもしれないが、やはり参加している人が生き生きしている写真が目を引くのではないかと思うの

で、もし何かいい写真があり、差し替えられたら使ってほしいなと思う。

渡邊コーディネーター

写真を採用するに当たり、これを見た方が、自分に行ってみたいなという雰囲気はどうしたら出せるかということで、今回は前回のカフェの写真で、五つの団体を紹介していただいて、参加の 23 人がいろいろな団体の場所に回っており拡散してしまって、一部の団体しか紹介できる写真しかなかったのが、今回は皆が分かるようにしてしまった。今回の御意見を頂いて、次回はもっと分かりやすくなる形にしていきたいと思う。

芝田委員

いい意見だと思うから、是非そのようにしてほしい。

岩井委員

是非地道に進めていただければ有り難い。

矢作委員

女性だけでなく、男性も含めた写真だったのではないかと思うが、女性だけの集まりのような感じがしてしまう。私は太極拳をやっているが、いろいろやっているところを撮った写真を入れることも必要なのかと思う。

名代委員

裏の紙面が空いているのなら、そこに個々の団体の写真を載せる方が分かりやすいかもしれない。活動している団体の写真も載せるといいと思う。

神山委員

出席者の男性、女性の比率からいうと、女性が多い。そうすると、後ろから写真を撮っても難しいと思う。先ほどお話にあったように、団体を少しずつ載せていく方法がいいのかなと思う。

辻委員

何かやってみようと思ったときに、この団体はどんな人がいるのだろう、どんな人たちが活動しているのだろうということが第一の関心事なので、サークルに誘うときも、チラシを作るときも、活動風景の写真はとても大事な要素だと思う。参加者の顔を載せるのは難しいと思うが、来てくださいと言っているグループがあるのなら、名代委員がおっしゃったように活動風景の写真を入れると、こんな感じで活動しているのだというのが分かるので、随分効果が違うと思う。

関口支援センター長

写真については、前回のこまめカフェをやっている風景として一つ載せた。それからどういう団体かという写真については、これから写真を頂かないといけないというところがあり、最初の頃に写真を用意できますかとお願いしたところ、すぐに集まらなかったなので、チラシ案を作成する段階でこういう形になっている。各団体の活動内容を載せたいということも考えており、写真を選ばせていただいて、進めさせていただきたいと思う。

なお、前回の第4回のチラシについては、両面で作成したところ、片面でいいよという委員の皆さんの御意見を頂いて、修正した経緯がある。

議長（竹澤会長）

ある意見が出ると、それに対応しなければいけない。またある意見が出るとその対応にまた対応しなければならない、ということになりかねない。

今でも、参加予定の団体のイラストが出ているので、何となく分かる。写真を載せていただいた方がいいのではないかというお話もございましたので、是非御検討いただければと思う。

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)については、以上とする。

報告事項(4) 学習会（助成金・パソコン）の開催結果について

（資料 報告 4）－1～3）

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター、向佐支援補助員

報告事項(4) 学習会（助成金・パソコン）の開催結果についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(4)について、委員に意見を求めた。

立山副会長

パソコン学習会、大変勉強していると思うが、素人でもやり方によってはホームページが結構できてしまう。容量が小さいなどあるかもしれないが、自分たちの力でホームページを作ってPRしていく方法が採れるといい。業者に任せて、高いお金をかけてやって効果がないという場合もあるから、自分たちでオリジナルのものを作ってやったらどうかと思う。そういう意味では、ホームページの学習会の希望があったら、こういうこともいいかなと思う。

向佐支援補助員

業者に頼むメリットはあるが、お金をかけられる団体ばかりではないと思うので、無料だとやれることが制限されてしまうが、やれる範囲内でできるようにこちらでもお手伝いしていければと思っている。

岩井委員

説明の中で、1団体、パソコンがつながらなかったというのは、どんな事情だったのか。

向佐支援補助員

パソコンのトラブルだったと思う。技術的なことになると、こちらでは分かりかねる。個別相談の際は、市民活動支援センターにある有線LANのパソコンでも一対一であればできるので、そちらで対応していければと思っている。

岩井委員

市側の事情でつながらなかったとすれば、何か対策が必要かなと思ったが、了解した。

辻委員

私も「かんたんホームページを作ろう」の回に初心者として参加したが、今何かというとQRコードが付いていて、関心があったら資料を読む前にQRコードで飛んでもらう。その画面に行けるというのは、今の時代のメリットなので、すごく勉強になった。

こういう実践を着実にやっていこうと思っているが、市民活動支援センターで教えていただくときに、建物内のWi-Fi環境が1階にしかない。これは非常に申し訳ないというか、市民活動支援センターの物だから、いつも1階のロビー、あるいは会議室に置いていただいたりするので、やはりWi-Fi環境を、インターネットで通信できる環境をもっと広げていただけたらと思う。これも是非将来的には検討していただきたい。

須賀市民生活課長

Wi-Fiについては、公共施設全般で計画的に進めており、企画調整課が所管で進めている。今後、導入の計画の有無も含めて確認させていただき、こういう要望があったということも含めて伝えさせていただく。

岩井委員

Wi-Fiの導入には、どのくらいのお金がかかるのか。

須賀市民生活課長

自宅でしたら4～5千円という記憶だが、公共施設となると規模が大きな電

波になるので、申し訳ありませんが金額については承知していない。

岩井委員

1階ではできて3階ではできないというのが、建物内の狭い範囲でも違いがあるのかと思ったので。

須賀市民生活課長

W i - f i の場合は、モデムのような機械を置き、そこから電波が飛ぶが、飛ぶ範囲がそれほど広がらないと聞いている。特に、コンクリート構造物のような頑丈な建物でフロアが変わる場合、例えばその機械が1階にある場合は、2階、3階で受信するのはなかなか難しい感じがするので、2階、3階で使うときには、そのフロアに機械を設置しないと受信ができない感じがする。1階で使えて、他のフロアが受信できないということなので1階にあると思うが、他のフロアの設置計画については確認させていただく。

岩井委員

私も息子が持っているのを利用するだけで、お金のことは全く分からないが私が行っているスポーツクラブでも、割と狭い範囲でW i - f i サービスの利用がOKですという表示が出ているので、市民活動支援センターの部屋だけで小規模でできないのかなと思った。

議長（竹澤会長）

W i - f i に関しては、設置以前に機能が分からないと検討のしようがないので、時間をかけていただいて結構なので、検討していただきたい。

ほかに意見がないようなので、報告事項(4)については、以上とする。

報告事項(5) 令和5年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について

(資料 報告 5) - 1 ~ 2)

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について、説明を求めた。

関口支援センター長

報告事項(5) 令和5年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(5)について、委員に意見を求めた。

岩井委員

取組事例集はよくできているが、例えば4ページに62,000円の補助金が交付されたことが掲載されているが、全体の事業費が幾らで、62,000円の補助金が交付された、ということが分かる方がいいのではと思った。

関口支援センター長

令和6年度取組事例集をまとめる際に検討させていただく。

議長（竹澤会長）

組織基盤強化支援において、継続して3年間、補助金を活用していただいているが、その辺に対しての団体の御意見というのは何かあるか。

須賀市民生活課長

補助金については、各団体の方にアンケートを御協力いただきまして、回答を頂いている。その中には補助金に関して御回答いただいた団体もございまして、組織基盤強化支援の中では、例えば現状では補助金10万円を3年継続ということで交付させていただいているが、物価高騰などもあり、購入したい備品が買えずに制約を受けるということもあって、限度額を何とか上げてもらえないかという意見、100%の補助金ではないので、自己負担額が発生することになるが、この自己負担額が大きいので、もう少し改善できないか、といった御意見を頂いている。

これについては、今回とは別の機会に改めて他の御意見も含めて意見を取りまとめて検討を進めたいと思っている。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(5)については、以上とする。

報告事項(6) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動
元気アップふえすたの進捗状況について

(資料 報告 6)－1～2)

議長（竹澤会長）

報告事項(6)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

報告事項(6) 「のだ市民活動ふれあいフェスティバル2024」第7回市民活動元気アップふえすたの進捗状況についてを説明した。

議長（竹澤会長）

報告事項(6)について、委員に意見を求めた。

名代委員

昨年参加した、野田市手をつなぐ親の会「キャラバン隊まめっこ」として言わせていただくと、キャラバン隊も人が集まる場所がいいので、講堂がいいなと言ったら、来年は講堂に交代してあげるからとの話があった。3階は人が来ないので1階の方がいいなと言ったら、昨年の話では場所は交代になるということだったのだが、今回も3階の第3会議室で同じ場所になっている。場所と順番は決定してしまっているのか。

釜田主任コーディネーター

舞台発表については、パンフレットに書いてあるように、1階の講堂と3階の第3会議室を予定している。前回、実演、体験と合わせて、より体験をしてもらおうという考えもあって、実演、体験の会場を1階の講堂と3階の第3会議室にした。以前は2階、3階だとなかなか市民の皆さんが来られない状況もあったので、それを改善するために、スタンプラリーの会場を10箇所用意して、10箇所全てを回ってもらうということで、スタンプラリー参加者は200数十名おりましたが、その人たちが大勢御覧になっているという状況もあった。

ただ、実演、体験ブースとスタンプラリーの会場の確保があったので、今回は舞台発表については、基本的には講堂でやっていく形にしたが、団体の希望を考えると団体数がどうしても制限されてしまうので、入り切れない場合には、第3会議室に持っていこうと考えた。その基準としては、大勢の人数で演舞する場合、又は多くの機材、重い物、大きい物については、どうしても講堂にならざるを得ないということで、これについては8月2日の参加団体の打合せ会議、ふれあいハートまつり実行委員会でも協議していただいて、最終的にはこの配置で御了解いただいている。

昨年の場合を考えると、以前の2階、3階の状況ではなくて、かなり大勢の来場者が来ている。それをより確実にするためのもう一つの要因が、第3会議室が舞台発表だけだったが、前回和室で子どもたちの人形劇、紙芝居、野田かるたをやっていたが、どうしても狭い、混雑する、靴を脱いだり履いたりしなければいけないということがあったので、第3会議室に変更した。併せてそれぞれの公演を3回から2回にして、その時間を舞台発表の3団体に割り当てた。人形劇、紙芝居、野田かるたと合同で第3会議室を使う形にさせていただいている。

舞台発表だけではなくて、これまで和室でやっていた子どもたち中心のイベ

ントも含めて、大勢の方に来ていただければ有り難いと考えている。そんな考えで配置しているので、御理解いただければと思う。

ロビーと会議室はふれあいハートまつりと元気アップふえすたが交代で使っていて、展示、相談の団体については、今年度は1階の会議室に配置ということで、これは例年通り輪番制になっている。

岩井委員

健康スポーツ文化都市宣言記念、ちば県民活動PR月間2024賛同行事になると、幾らか交付金があるのか。

釜田主任コーディネーター

健康スポーツ文化都市宣言記念は、冠ということで、広く市が中心に進めている位置付けを頂いているという表現しかないが、特にお金はない。

ちば県民活動PR月間2024賛同行事については、先ほどスタンプラリーの参加賞で説明したように、チーバくんグッズ、ビニール袋、クリアファイルといった物を無償で提供していただける。今年もその予定である。

関口支援センター長

パンフレットについて、今回皆さんに分かりやすいようにカラー印刷にした。今まで原案をいろいろ協議した中で進めていたところで、白黒で印刷したり、プリンターを使って印刷したりして気がつかなかったが、例えば3ページの団体名が載っている部分の下地は、全部白にする予定だった。パソコンの画面上で見ると薄いグレーが白に見えてしまっていて、今回印刷するまで気が付かなかったが、下地はほとんど白くなる予定である。と言いますのは、視覚障がいの方からグレー、黒は見にくい。薄い色は下地になると見にくいという御意見が出まして、基本は下地が白で、字は黒字になる予定である。

白黒で印刷したときに気がつかなかったが、カラーで印刷すると例えば4ページの図のロビー部分は、違うプリンターで印刷すると、このような黄色になる。本来、真っ黄色で印刷されるはずが、このような色になる。業者に印刷を委託したら、また少し色が違って見えることがあるかもしれないので、よろしくをお願いしたい。

辻委員

表紙のタイトル部分の「のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2024」の部分も、少し微妙な中間色のグラデーションであるが、この辺りもはっきりと見えるようになるのか。

関口支援センター長

そうなる予定である。

辻委員

印刷物は、字体一つで何か楽しそうと感じられ、印象が変わる。だから 11 月 17 日の数字も、タイトルの「のだ市民活動ふれあいフェスティバル」も、フォント選びにすごくセンスが必要で、楽しそうだな、元気が出そうだなというフォントに、もう少し太めにするといいのではないかと思う。カラーでとても分かりやすくなったと思う。

もう一点、例えば開くと各ページがきちんと色分けされていて、部屋の場所も分かりやすいが、見開きの右側の、例えば 3 ページの講堂とかクラブ室という文字は、こんなに大きくななくてもいいと思う。参加団体の名前をもう少し大きくしてあげると見やすいのではないかと思う。左側にしっかり地図が書いてあるから、右側の講堂やクラブ室の字は、こんなに大きな字で差をつけなくても大丈夫で、出演する団体をもう少し大きく出してあげるといいと思う。

それから 2、3 階部分のページの右ページに「タイムテーブル」となっているが、これはこの出演団体が時間で交代して出るという意味でよろしいか。

釜田主任コーディネーター

タイムテーブルのところは、時間が「00：00～00：00」になっているが、ここは 10：00～11：00 とか順番で入れ替えるという表現で、時間順に順番に入れ替えていく形を考えている。まだ調整の途中のため、申し訳ございません。

辻委員

その上段、第 3 会議室の体験のところも、6 団体が時間別に出演するということになるのか。

釜田主任コーディネーター

そのとおりです。来場者の方が、何時から何時までどこの団体がどこで何をやるというのが分かるように、決定した段階で順番も踏まえて記載したい。

名代委員

スタンプラリーの場所に A B C と書いてあるが、各部屋の場所が結構分かりにくくて、どこですかと聞かれてしまうので、各部屋のところにも印刷物で大きく A B C と書いていただくと、その記号でいけると思うので、スタンプラリーのアルファベットの表記を上を持ってきていただいて見やすくしていただけると有り難い。

釜田主任コーディネーター

今の御意見は、例えば講堂の場所とスタンプラリーの場所が離れているのでまずは講堂のところにスタンプラリーDを近付けるということか。

名代委員

パンフレットの右側ページで、スタンプラリーDの表記の場所と講堂の文字の場所が離れていると分かりにくい。

釜田主任コーディネーター

例えば、講堂の文字の左側にスタンプラリーの表記をした方がいいか。

名代委員

左側でも上部でもいい。あと、会場内の各部屋のところが来場者が分からないので、部屋にも行きやすいように、部屋の入り口に書いてほしい。

釜田主任コーディネーター

昨年も分かりやすくしてほしいという御意見があり、全ての会議室、会場には会場名とスタンプラリーは全部表示して、大きくA、BなどとA3の大きさの紙に書いて貼っていた。やはり参加団体の方から、子どもたちが来たときに、講堂とかクラブ室ではなくて、この部屋がA、Bの部屋だと分かるようにということだったので、実は前回もそういう表示はしていた。更に見やすいように工夫したいと思う。

名代委員

エレベーターを降りてから、どちらに行ったらいいか分からなくなってしまう。降りたときに左ですか、右ですかと質問されることが多い。部屋の前まで行かないと分からない。

釜田主任コーディネーター

2階、3階もエレベーターを降りた正面などに、会場案内で左右の矢印を付けて、ここは例えば講座室、和室など、スタンプラリーも全部表示はしたが、大勢の人数とか表示があるので、もう一度中身と場所を検討しながら、できるだけ初めて来る市民の方にも分かりやすく検討していきたい。

名代委員

自閉症の子が分かるように色分けという形で、足元にもテープで書いてもらう。人が多いので、パンフレットに書いてあっても、近くにいる人に聞いてしまうと思う。私たちも皆さんが知らなくてきてくれるのはうれしいが、全然関係ない団体なのに、こちらが御案内するような形になってしまうので、よろし

くお願いします。

釜田主任コーディネーター

中央公民館、総合福祉会館の会議室が右の奥、左の奥にあるので、その点も含めて検討したいと思う。

芝田委員

スタンプラリーは、できるだけいろいろな部屋に行ってもらおうという趣旨である。スタンプを入り口に置いておくと、部屋に入ってスタンプを押していなくなってしまう来場者もいる。例えば第1会議室なら4団体が参加しているが、4団体全てを見学してもらおうというところから発想して、スタンプの置き場所も4団体内で時間別に移動することになっている。なぜ、時間別に移動するかというと、4団体全てを見学してもらうのが趣旨である。

意見としてはよく分かるが、部屋に入って、今どこにスタンプがあるかというのがなかなか分かりにくくなっているのも事実である。

名代委員

スタンプが部屋のどこにあるかという話ではなくて、その部屋に行くまでのことで、3階の会議室は奥にあり、初めて入った人は場所が分かりにくい。昨年のキャラバン隊では、3人くらいスタンプを押してすぐに帰りたいという人がいたが、パンフレットを渡して説明を結構聞いてくれた。

しかし、回る人は大変だったと思う。全部回らなくてはいけないというのは、全員に時間があるわけではなく、来てくださる方もいらっしゃる。

私の説明が悪かったが、スタンプ自体をすぐに押してというのではない。部屋に行くまで、第3会議室、第1会議室がどこにあるのか分からない。そういう話である。

議長（竹澤会長）

場所については、入ってすぐに分かりやすいのが一番いいが、多くの人数が来るので、本当に皆さん大変だと思うが、まだ少し時間もあると思うので、いろいろ工夫をしていただいて、委員の方も、感じたことを御意見いただければと思う。

立山副会長

スタンプラリーは、昨年と同じようにやるということか。そこに係の方がいて、誘導してもらう形を取ることになるか。

釜田主任コーディネーター

第1回の参加団体打合せ会議でも、参加団体の方は会場ごとに集まっていたいて、舞台発表の順番を決めるのと併せて、スタンプラリーの担当者を決めていただいた。各団体最低1名出していただいて、スタンプ係を配置する。昨年だと実演、体験を30分フルにというのはなかなか厳しいというのがあったので、舞台発表は15分、人形劇とかるたは25分くらいであるが、取決めとしては最低でも5分程度、団体の舞台、実演を見ていただく。そのときに、スタンプラリー係については、自分たちの団体の紹介をするチラシがあればそれを渡していただいて、更にPRしていく。今回もチラシがないという団体もあったが、こういう機会を通じて団体をPRするものを作っていこうということになっている。その辺については、昨年一部混乱したところがあったが、スムーズにいくように進めていきたいと考えている。

名代委員

分かりやすいということで言えば、例えば講堂は赤、会議室は黄色など目で分かる方法でお願いしたい。

関口支援センター長

最初に説明させていただいたが、それを提案したところ、視覚障がいの団体の方からそれをやると分からないから止めてほしいという意見が出ており、主に白地になるということで説明させていただいた。

議長（竹澤会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(6)については、以上とする。

高梨係長

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和6年10月28日（月）午後2時から、低層棟の委員会室を会場に予定している。

議題は、元気アップふえすたの進捗状況について、市民活動団体支援補助金交付規則の見直しについて、などを予定している。

議長（竹澤会長）

会議の閉会を宣言した。